

新公立病院改革プランの概要
(平成28年4月1日時点で新改革プランを策定済みの病院)

団体コード	347500
施設コード	001

本様式作成日	平成28年7月29日
--------	------------

団体名	府中市																																																																																																	
プランの名称	地方独立行政法人府中市病院機構 第2期中期計画																																																																																																	
策定日	平成28年3月15日																																																																																																	
対象期間	平成28年度～平成31年度																																																																																																	
病院の現状	病院名	府中市市民病院			現在の経営形態		地方独立行政法人																																																																																											
	所在地	府中市鞆町555番地3																																																																																																
	病床数	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計																																																																																										
		一般・療養病床の病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と一致すること																																																																																										
診療科目	科目名 内科、外科、整形外科、婦人科、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科、精神科(計9科目)																																																																																																	
(1) 地域医療構想を踏まえた役割の明確化	① 地域医療構想を踏まえた当該病院の果たすべき役割(対象期間末における具体的な将来像)	<p>(提供する医療の内容)地域の医療資源が最大限活用できるよう、近隣病院、診療所との連携と役割分担による医療提供体制を推進(高齢化に対応した医療)訪問看護ステーションの充実や地域包括ケア病床の導入により、高齢者の在宅生活の支援及び在宅生活への復帰に必要な医療を提供(予防医療)市の保健事業と連携し、総合的な予防医療を提供。介護予防に向けた病院でのリハビリ機能を充実し、地域住民の健康寿命の延伸の実現(救急医療)二次救急輪番制病院として、地域の医療機関と連携、補完による急性期患者への対応(へき地医療)へき地医療拠点病院として無医地区等へ巡回診療を実施(災害医療)災害発生時や感染症の流行時には、市からの要請に基づき必要な医療を提供(ICT技術を活用した地域医療連携)医療機関や介護サービス事業所等との連携を促進。広域的には、「ひろしま医療情報ネットワーク(HMネット)」に参加。府中地区医師会圏域においては、在宅医療情報共有システムによる地域連携を推進</p>																																																																																																
	平成37年(2025年)における当該病院の具体的な将来像	府中市地域医療再生計画で示された、より広い地域の複数の病院と診療所からなる医療機関全体が役割分担することによって必要とされる医療を提供するという医療提供体制の推進や、医療と介護の日常的な連携体制の構築。																																																																																																
	② 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割	府中市市民病院は、地域包括ケアシステムにおいて支える医療の中心的役割を担い、地域住民の生活を多角的に支えます。市の地域包括支援センター(サブセンター)機能を、市南部日常生活圏域では府中市市民病院内に設置し、病院との有機的連携を進め、在宅支援機能の一層の強化に努めます。府中地区医師会、訪問看護ステーションや介護サービス事業所と連携した、高齢者の安心を支える医療・介護の連携体制の実現に向けて、市の構想「在宅支援システム」の具体化にむけて、病院が緊急時の受け皿となることで、在宅介護者の不安解消に努めます。																																																																																																
	③ 一般会計負担の考え方(繰出基準の概要)	<p>総務省繰り出し基準による</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院の建設改良費に要する経費 ・救急医療の確保に要する経費 ・高度医療に要する経費 ・保健衛生行政事務に要する経費 ・企業債償還元金に要する経費 																																																																																																
	④ 医療機能等指標に係る数値目標	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>26年度 (実績)</th> <th>27年度 (実績見込)</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1)医療機能・医療品質に係るもの</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>救急搬送患者数</td> <td>317</td> <td>319</td> <td>325</td> <td>325</td> <td>325</td> <td>325</td> <td>325</td> <td></td> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td>286</td> <td>294</td> <td>302</td> <td>311</td> <td>320</td> <td>329</td> <td>329</td> <td>外科</td> </tr> <tr> <td>訪問看護延べ患者数</td> <td>3137</td> <td>2933</td> <td>3079</td> <td>3202</td> <td>3202</td> <td>3202</td> <td>3202</td> <td></td> </tr> <tr> <td>訪問リハ延べ患者数</td> <td>1578</td> <td>1561</td> <td>1592</td> <td>1623</td> <td>1623</td> <td>1623</td> <td>1623</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2)その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人間ドック受診者数</td> <td>307</td> <td>319</td> <td>322</td> <td>325</td> <td>328</td> <td>331</td> <td>331</td> <td></td> </tr> <tr> <td>がん検診受診者数</td> <td>1248</td> <td>1364</td> <td>1377</td> <td>1390</td> <td>1390</td> <td>1390</td> <td>1390</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特定健診受診者数</td> <td>301</td> <td>526</td> <td>531</td> <td>531</td> <td>531</td> <td>536</td> <td>536</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									26年度 (実績)	27年度 (実績見込)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	備考	1)医療機能・医療品質に係るもの									救急搬送患者数	317	319	325	325	325	325	325		手術件数	286	294	302	311	320	329	329	外科	訪問看護延べ患者数	3137	2933	3079	3202	3202	3202	3202		訪問リハ延べ患者数	1578	1561	1592	1623	1623	1623	1623		2)その他									人間ドック受診者数	307	319	322	325	328	331	331		がん検診受診者数	1248	1364	1377	1390	1390	1390	1390		特定健診受診者数	301	526	531	531	531	536	536
	26年度 (実績)	27年度 (実績見込)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	備考																																																																																										
1)医療機能・医療品質に係るもの																																																																																																		
救急搬送患者数	317	319	325	325	325	325	325																																																																																											
手術件数	286	294	302	311	320	329	329	外科																																																																																										
訪問看護延べ患者数	3137	2933	3079	3202	3202	3202	3202																																																																																											
訪問リハ延べ患者数	1578	1561	1592	1623	1623	1623	1623																																																																																											
2)その他																																																																																																		
人間ドック受診者数	307	319	322	325	328	331	331																																																																																											
がん検診受診者数	1248	1364	1377	1390	1390	1390	1390																																																																																											
特定健診受診者数	301	526	531	531	531	536	536																																																																																											
⑤ 住民の理解のための取組	<p>(住民への積極的な情報発信と住民啓発)病院運営に関する地域住民の理解促進と、病院への親近感を醸成するため、広報紙や電子媒体による病院情報の積極的な発信や、病院施設を活用した地域交流の促進に努めます。これらの情報発信や地域交流は継続したものになるよう、定期的かつ地域のイベントに合わせるなどタイムリーな方法で行います。 (病院ボランティアの育成・受入れ)病院ボランティアの育成に努め、その積極的な受入れを進めます。</p>																																																																																																	

別記1

(2) 経営の効率化	① 経営指標に係る数値目標								
	1) 収支改善に係るもの	26年度 (実績)	27年度 (実績見込)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	備考
		経常収支比率(%)	103.0	95.8	100.0	102.8	104.3	105.7	105.7
		医業収支比率(%)	91.1	88.5	92.1	89.8	92.5	93.8	93.8
	2) 経費削減に係るもの	26年度 (実績)	27年度 (実績見込)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	備考
		材料費対医業収益比率	15.2	17.3	16.6	16.6	16.5	16.5	16.5
		薬品費対医業収益比率	8.5	10.2	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5
		経費対医業収益比率	20.4	19.2	15.6	13.9	13.5	13.3	13.3
		委託料対医業収益比率	8.8	10.0	7.4	7.2	7.1	6.9	6.9
	3) 収入確保に係るもの	26年度 (実績)	27年度 (実績見込)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	備考
		入院収益(千円)	1,199,820	1,273,410	1,378,500	1,411,000	1,411,000	1,411,000	1,411,000
		外来収益(千円)	750,114	761,860	795,900	835,695	877,479	921,353	921,353
	4) 経営の安定性に係るもの	26年度 (実績)	27年度 (実績見込)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	備考
		繰入金対経常収益比率	12.2	7.1	10.8	10.8	10.7	10.6	10.6
上記数値目標設定の考え方		入院収益は、H28年度以降、一般病床(100床)2病棟のうち1病棟(50床)を地域包括ケア病棟に転換することで、増収を見込む。また、H27年度に介護療養病床を廃止し、療養病棟入院基本料1の届による増収も見込んだ。外来収益は、新築移転した新病院効果による外来患者増、設備投資した検査機器等による検査収益増、ベット数を増床した透析室の患者増を見込んだ。							
② 経常収支比率に係る目標設定の考え方(対象期間中に経常黒字化が難しい場合の理由及び黒字化を目指す時期、その他目標設定の特例を採用した理由)		府中市市民病院の単独での経営成績は、法人スタートのH24年度から黒字決算を達成していたが、H27年度は、新病院へ移転のための臨時的経費が増加し赤字となった。H28年度以降は黒字となる。							
③ 目標達成に向けた具体的な取組(どのような取組をどの時期に行うかについて、特に留意すべき事項も踏まえ記入)		民間的経営手法の導入	(運営管理体制の確立) 自律的な業務運営の実現に必要な経営戦略機能の充実と、運営管理体制の確立を実現するため、早急に組織改革に取り組みます。また、病院外部からの意見等を積極的に業務運営に活かすため、その仕組みづくりに努めます。						
		事業規模・事業形態の見直し	(効率的で弾力的な人員配置) 府中・上下両地域の病院機能を守るため、限られた人材を弾力的に配置し、効果的かつ効率的な組織体制を実現します。						
		経費削減・抑制対策	(収入の確保と支出削減) 各種経営指標の目標値を詳細に設定するとともに、その管理を徹底して行うことで、法人が持つ医療資源を効率的かつ効果的に活用し、積極的に収入の確保と支出の削減に努めます。また、利用頻度の低い施設、設備については、経費の軽減を図るため、積極的に新たな活用策を推進します。						
		収入増加・確保対策	(事務職員の確保・育成と専門知識習得支援) 病院事業の継続性確保に向けた計画的な事務職員の確保に努めるとともに、そのキャリアアップを積極的に支援することで、医療保険制度や診療報酬制度など病院特有の医療事務、経理及び財務などに精通する職員を育成します。						
		その他	(職員教育体制の充実) 医師及び医療従事者の専門性及び医療技術の向上支援 (働きやすい職場環境の整備) ・働き甲斐を感じることができる仕組みづくり ・日常的に業務改善取り組む職場意識の醸成 ・福利厚生充実						
④ 新改革プラン対象期間中の各年度の収支計画等		別紙1記載							

別記1

(3) 再編・ネットワーク化	当該公立病院の状況 <input type="checkbox"/> 施設の新設・建替等を行う予定がある <input type="checkbox"/> 病床利用率が特に低水準(過去3年間連続して70%未満) <input type="checkbox"/> 地域医療構想等を踏まえ医療機能の見直しを検討する必要がある
	二次医療又は構想区域内の病院等配置の現況 二次医療圏は福山・府中医療圏(府中市、神石高原町、福山市)である。府中市内には南部に府中市民病院、神石高原町には神石高原町立病院、福山市には福山市民病院と国立病院機構福山医療センターがある。 近隣には、福山市新市町の社会医療法人社団陽正会寺岡記念病院があり、府中市民病院は、福山・府中二次医療圏北部(府中地区)の二次救急中核病院である寺岡記念病院とともに、二次救急輪番制病院として地域の救急医療を担っています。府中市民病院と寺岡記念病院は、「地域医療病院コンソーシアム府中」として毎月定例会を開催し、情報共有や共通認識を図っている。
当該病院に係る再編・ネットワーク化計画の概要 (注) 1詳細は別紙添付可 2具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期>
	<内容> 平成24年4月1日、地方独立行政法人府中市病院機構を設立、府中市立府中北市民病院とJA広島厚生連府中総合病院を経営統合した。
(4) 経営形態の見直し	経営形態の現況(該当箇所)に✓を記入) <input type="checkbox"/> 公営企業法財務適用 <input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input checked="" type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 一部事務組合・広域連合
	経営形態の見直し(検討)の方向性(該当箇所)に✓を記入、検討中の場合は複数可) <input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 民間譲渡
	<input type="checkbox"/> 診療所化 <input type="checkbox"/> 老健施設など、医療機関以外の事業形態への移行
	経営形態見直し計画の概要(注) 1詳細は別紙添付可 2具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。
(5)(都道府県以外記載)新改革プラン策定に関する都道府県からの助言や再編・ネットワーク化計画策定への都道府県の参画の状況	広島県地域医療再生計画(平成22年1月)のBプラン(中山間地域を中心とした地域医療再生計画)において、中山間地域における医療機関の再編・連携強化として、「府中市立府中北市民病院と厚生連府中総合病院の連携強化による医療機能の強化を支援するとともに、機能に応じた病院体制の整備を推進する」ことが掲げられた。 県の支援を受け、府中市は、平成24年4月、2病院の経営統合と地方独立行政法人化を実現し、引き続き府中市民病院の建て替えに着手、平成28年2月新病院へ移転した。
※点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制(委員会等を設置する場合その概要) 地方独立行政法人府中市病院機構評価委員会を設置済。 委員会構成は5人。(委員長:府中地区医師会会長、委員:岡山大学病院長、広島大学病院長、府中商工会議所、公認会計士)
	点検・評価の時期(毎年〇月頃等) 年度実績評価は、毎年、7月下旬~8月上旬。 中期目標期間の実績評価は、中期目標期間最終年度の翌年度8月頃。
	公表の方法 府中市ホームページで公開
その他特記事項	

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

年度		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
		(実績)	(実績見込)					
区分								
収	1. 医業収益 a	2,355	2,325	2,543	2,625	2,670	2,717	2,617
	(1) 料 金 収 入	1,950	2,052	2,175	2,247	2,288	2,332	2,332
	(2) そ の 他	405	273	368	378	382	385	285
	うち他会計負担金	254	154	246	253	257	260	160
	2. 医業外収益	9	11	11	11	11	11	11
	(1) 他会計負担金・補助金			1	1	1	1	1
	(2) 国(県)補助金							
	(3) 長期前受金戻入							
	(4) そ の 他	9	11	10	10	10	10	10
	経常収益(A)	2,364	2,336	2,554	2,636	2,681	2,728	2,628
入	1. 医業費用 b	2,291	2,434	2,543	2,553	2,560	2,570	2,370
	(1) 職員給与費 c	1,509	1,578	1,543	1,570	1,574	1,578	1,578
	(2) 材 料 費	316	372	379	391	397	403	403
	(3) 経 費	428	414	356	327	324	324	324
	(4) 減価償却費	33	65	260	260	260	260	60
	(5) そ の 他	5	5	5	5	5	5	5
	2. 医業外費用	6	6	9	9	9	9	9
	(1) 支払利息	1	1	2	2	2	2	2
	(2) そ の 他	5	5	7	7	7	7	7
	経常費用(B)	2,297	2,440	2,552	2,562	2,569	2,579	2,379
経常損益(A)-(B)(C)	67	▲104	2	74	112	149	249	
特別損益	1. 特別利益(D)							
	2. 特別損失(E)							
	特別損益(D)-(E)(F)	0	0	0	0	0	0	0
純損益(C)+(F)	67	▲104	2	74	112	149	249	
累積欠損金(G)	▲239	▲135	▲137	▲211	▲323	▲472	▲721	
不良債務	流動資産(ア)	572	854	732	741	747	889	935
	流動負債(イ)	270	664	177	174	175	176	176
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0	0
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額(エ)	0	0	0	0	0	0	0
	不良債務(オ) 差引 [(イ)-(エ)] - [(ア)-(ウ)]	▲302	▲190	▲555	▲567	▲572	▲713	▲759
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	102.9	95.7	100.1	102.9	104.4	105.8	110.5	
不良債務比率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	▲12.8	▲8.2	▲21.8	▲21.6	▲21.4	▲26.2	▲29.0	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	102.8	95.5	100.0	102.8	104.3	105.7	110.4	
職員給与対医業収益比率 $\frac{c}{a} \times 100$	64.1	67.9	60.7	59.8	59.0	58.1	60.3	
地方財政法施行令第15条第1項 により算定した資金の不足額(H)	▲302	▲190	▲555	▲567	▲572	▲713	▲759	
資金不足比率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	▲12.8	▲8.2	▲21.8	▲21.6	▲21.4	▲26.2	▲29.0	
病床利用率	83.1	86.1	91.3	92.5	92.5	92.5	92.5	

団体名 (病院名)	府中市 (府中市民病院)
--------------	-----------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		26年度 (実績)	27年度 (実績見込)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
収 入	1. 企業債	45	834	90	10	10	10	10
	2. 他会計出資金							
	3. 他会計負担金							
	4. 他会計借入金							
	5. 他会計補助金							
	6. 国(県)補助金							
	7. その他							
	収入計 (a)	45	834	90	10	10	10	10
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)							
	前年度許可債で当年度借入分 (c)							
純計(a)-(b)+(c) (A)	45	834	90	10	10	10	10	
支 出	1. 建設改良費	45	913	90	10	10	10	10
	2. 企業債償還金	9	19	27	104	217	231	234
	3. 他会計長期借入金返還金							
	4. その他							
	支出計 (B)	54	932	117	114	227	241	244
差引不足額 (B)-(A) (C)	9	98	27	104	217	231	234	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	9	98	27	104	217	231	234
	2. 利益剰余金処分量							
	3. 繰越工事資金							
	4. その他							
計 (D)	9	98	27	104	217	231	234	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)								
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	

- 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	26年度 (実績)	27年度 (実績見込)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
収益的収支	(60) 254	(0) 154	(0) 247	(0) 254	(0) 258	(0) 261	(0) 161
資本的収支	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0
合計	(60) 254	(0) 154	(0) 247	(0) 254	(0) 258	(0) 261	(0) 161

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。